

キキョウ (キキョウ科)

秋の七草の「あさがお」として知られています。なぜこんなところに植栽しているか、と言いますと。。。実はこの株、植栽ではなく、土着の株です。野趣あふれる自生の姿を御覧ください。

香る球根ベゴニア

(シュウカイドウ科)

球根ベゴニアでは珍しく、花に香りがあります。美しい姿に加え、香りまで持ち合わせた株を、ぜひ御一見ならぬ御一嗅(?)ください。

ポポー (バンレイシ科)

北アメリカ原産。産直市で売られているのをよく目にする果樹です。大きな葉の間から、かわいらしい果実をたくさんぶら下がっています。採って食べないでくださいね!

ヒゴタイ (キク科)

かつて備後地方では盆花として重宝していました。現在では草地の減少で絶滅危惧種となっています。

オミナエシ

(オミナエシ科)

秋の七草のひとつとして知られ、黄色い花を花の進化園やロックガーデンで咲かせています。

世界の食虫植物展

(展示温室 8/23まで)

今年は広島食虫植物同好会の御協力で、1ヶ月間の長期展示となりました。ハエトリソウやウツボカズラなど食虫植物 140鉢を展示しています。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

「開花している」と言われなければ気が付かない、樹の大きさに見合わない小さな花を、枝先に円錐状に多数咲かせています。展望塔の2~3階まで上っていただければ、目の前で観察することができます。中国原産。

アメリカノウゼンカズラ

(ノウゼンカズラ科)

とサッコウフジ (マメ科)

アメリカノウゼンカズラはアメリカ合衆国南東部原産で、ノウゼンカズラより細めのトランペットのような花を付けており、色は濃い赤橙色です。

サッコウフジは台湾~中国南部原産で、蝶形で紅紫~暗紫色花を密につける蔓性の植物で、別名ムラサキナツフジ。

カカオ (アオギリ科)

熱帯アメリカ原産。幹に直接多くの花と果実を着けた幹生花(果)の様子を観察することができます。果実はチョコレートの原料として知られています。

アリアケカズラ

(キョウチクトウ科)

ツルを高く伸ばし降り注ぐように黄色の大きな花を枝先に咲かせています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

